

事業計画書

団体名		特定非営利活動法人陽だまりの会
事業名称		精神障害に関する地域交流事業
事業実施期間		(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 2023年4月1日 ~2024年3月31日
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	<p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 精神障害者に対する社会的な理解を深め、障害者が差別なく暮らすことのできる社会を目指す</p> <p>(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 世界的に突出している精神科病床の多さ、入院期間の長さ、その結果社会的な排除を受けている精神障害者の多さ。</p> <p>(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 精神病患者や精神障害の社会的理解が進んでいないこと。精神科病院の多さが容認される社会的な構造が変わらないこと。</p> <p>(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 精神障害者と直に交流したり、精神障害や精神病への理解を深めたりすることにより、少しでも社会的な偏見が軽減すると期待できる。</p>
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	<p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 精神障害者が交流できる場所を設け、精神障害者が「怖い人」ではない等の理解を深めてもらう。また正しい知識を得ることにより偏見の払拭を計る。</p> <p>(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 <枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) 市民の精神障害への偏見が少しでも軽減する。 <確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) 交流会については参加数を確認。アンケートも検討する。 講演会についてはアンケートを実施。</p>
2. 事業内容等		<p>(1) 事業の対象者(例:枚方市内に住む10代から20代の人など具体的に)枚方市に在住・在職・在学する市民。障害者の問題や社会問題に関心のある方。年齢不問。</p> <p>(2) 事業の実施場所(移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) 交流会については陽だまりの敷地内及び施設内。 講演会については、ラポールひらかた等の貸会場。</p> <p>(3) 事業内容 11月に①「地域ふれあい祭り」2月に②「もちつき大会」 ①は市内の障害者事業所にも呼びかけて模擬店等を開催し、市民と利用者等の障害者が自由に参加し交流できる場とする。②はもちつきをおこない、同様に参加する市民と障害者との交流の場とする。 夏～秋に講演会 or シンポジウム 精神障害者の現状を分かりやすく話せる研究者や支援者・当事者等を講師として招き、講演の中で市民の理解を計る。</p>

<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可 4月に講演会の実行委員会を設置し、講演内容の詳細、講師・会場の選定実施1か月前までにチラシを作製 ⇒ 宣伝 ⇒ 実施。 9月に地域ふれあいまつりの実行委員会を設置。内容を検討。 1か月前までにミニコミ誌・チラシを作成し配布。11月3日に実施(予定)。 12月にもちつき実行委員会を設置。内容について検討。 1か月前までにミニコミ誌・チラシを作成し配布。2月3日に実施(予定)。</p>
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(1) 人員体制(実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること) 陽だまりの職員と会員・利用者等のボランティアで実施する。 「地域ふれあいまつり」と「もちつき大会」はこの間ほぼ毎年実施。 講演会は不定期だが、4年前には北海道「べてるの家」の職員・利用者を招いて、シンポジウムをラポール大研修室で実施した。</p> <p>(2) 事業対象者の見込み数(例:参加者●名など現時点の想定人数を記入すること) 「地域ふれあいまつり」「もちつき大会」は各100人程度 講演会は50~100人程度</p> <p>(3) その他の体制(寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること) 「地域ふれあいまつり」は、近隣の障害者支援事業所にも呼びかけ、模擬店等の協力をいただいている。 交北校区コミュニティ協議会には、下記のと通りの協力をいただいている。</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること) 交北校区コミュニティ協議会には広報のほか「地域ふれあいまつり」ではやきそばの模擬店も担ってもらっている。 会員・利用者の多くもボランティアとして継続して協力してもらっている。</p>
<p>6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み</p>	<p>「地域ふれあいまつり」と「もちつき」については20年以上にわたって継続してきた。より広報に努め、多くの市民が参加できるものになりたい。 講演会は不定期に実施してきたが、今後定期的にも実施することも検討する。</p>
<p>7. 事業のPR方法</p>	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること) 会の機関誌やチラシを市内等の関係機関や精神科医療機関等に送付し、設置を依頼している。またミニコミ誌を作成して近隣の地域にポスティングしている。 広報ひらかたの短信コーナーも適宜利用。</p>
<p>8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定</p>	<p>助成金等の予定 有り(申請中を含む) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無し(本補助金のみ) 助成金等の名称() 申請中の場合、申請結果が確定する予定日(令和 年 月 頃の見込み)</p>
<p>9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人陽だまりの会

補助対象事業の名称：	精神障害に関する地域交流事業
------------	----------------

事業実施期間：2023年4月～2024年3月

【収入の部】

(単位：円)

項目※1	予算額	内容説明(積算根拠等)
枚方市補助金(一般)(A)	300,000	補助金交付申請額(一般寄附)
枚方市補助金(団体)(B)	50,000	補助金交付申請額(団体希望寄附)
参加費	20,000	もちつき大会参加費(200円×100人)
合計 (C)	370,000	

【支出の部】

(単位：円)

項目	予算額	内容説明(積算根拠等)
補助対象経費	謝金	70,000 講演会講師謝金
	旅費交通費	30,000 東京⇄枚方市
	消耗品費	30,000 もち米等材料費、文具他
	印刷製本費	40,000 チラシ・ポスター
	通信運搬費	5,000 郵送料
	保険料	25,000 イベント保険
	会場使用料	20,000 講演会会場代、駐車料金
	備品購入費	150,000 折り畳み椅子・長机他
小計 (E)	370,000	
補助対象外経費		
小計	0	
合計 (D)	370,000	

- ※1：事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。
- ※3：枚方市補助金(一般)(A)は、補助回数により記入可能な金額が異なります。(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)
- ※4：枚方市補助金(団体)(B)は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。(通知がなかった or 今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)

特定非営利活動法人陽だまりの会 精神障害に関する地域交流事業

日本の現状

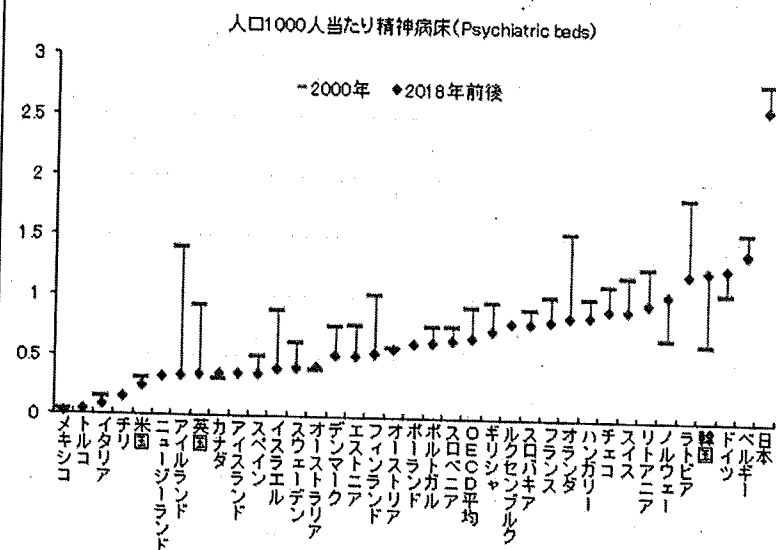
精神病床数(※)と平均在院日数推移(諸外国との比較)

	2012年 精神病床数 (床/千人)	2014年 平均在院日数(日)
ベルギー	1.7	10.1
フランス	0.9	5.8
ドイツ	1.3	24.2
イタリア	0.1	13.9
日本	2.7	285
韓国	0.9	124.9
スイス	0.9	29.4
イギリス	0.5	42.3

※各国により定義が異なる

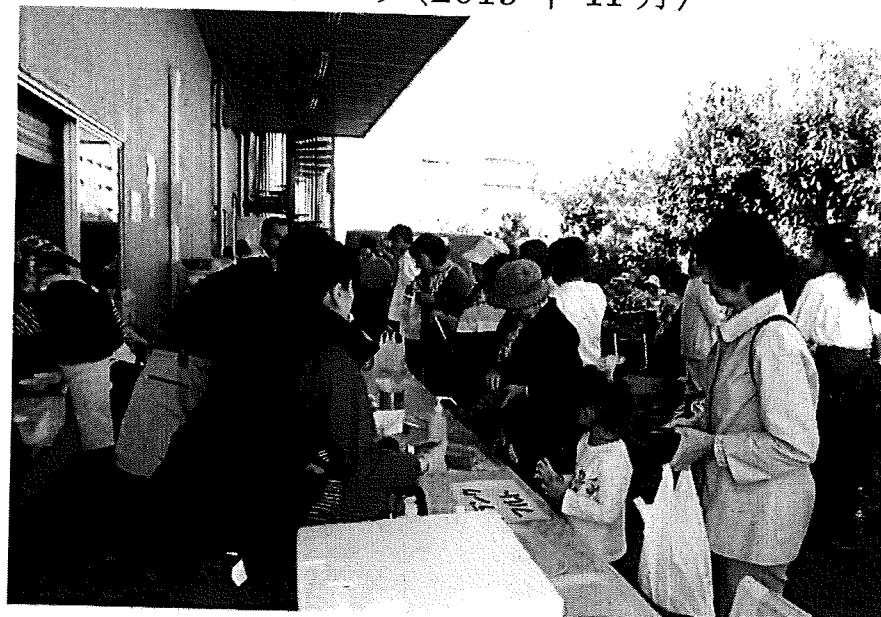
※出典: OECD Health Data 2016

精神病床の国際比較

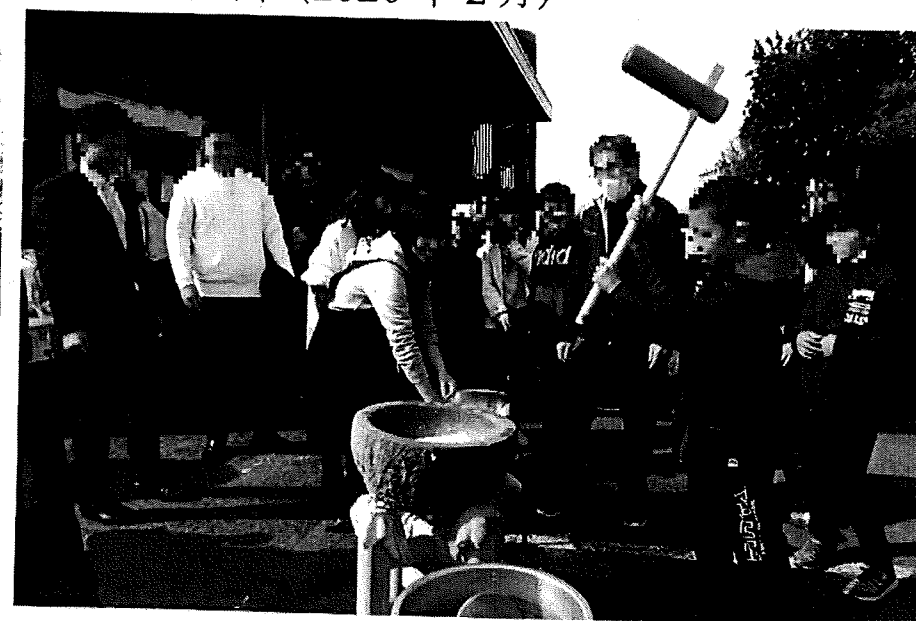


(資料) OECD (2021) A New Benchmark for Mental Health Systems, p91

地域ふれあいまつり (2019年11月)



もちつき大会 (2020年2月)



地域に配布しているミニコミ誌
年3回発行

陽だまりの散歩道
2023年 1月号 No.60

もちつき大会
11:00 ~ 13:00
500円 月夜汁 300円
天下一品の豚骨・手作り品の販売もありです

2/4 土曜日

当日は、新型コロナウイルス感染症防止対策に基づき協力関係が保たれます

場所(背面に地図あり) 陽だまりの会

講演会



2019年7月 30周年記念事業
市民セミナー「べてるの家が来る」